



「宮城ふるさとプラザ」8月8日 有楽町・東京交通会館に本設オープン！ ～首都圏における宮城の“おいしい・たのしい・つながる”を体感できる場へ～

公益社団法人宮城県物産振興協会（所在地：宮城県仙台市、会長：門傳英慈）は、2025年8月8日（金）、東京・有楽町の「東京交通会館」地下1階に、アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」本設店舗をオープンいたします。

本店舗は、2025年1月より仮設営業してきた日本橋・茅場町店舗の取り組みを継承・発展させるもので、限られたスペースを活かしながら、生産者との交流や宮城の味覚を体験できる「楽しさの詰まった」売り場へと進化。物販・飲食・体験を通じて、首都圏における宮城の魅力発信拠点としての役割を担ってまいります。
※当日は10時よりオープニングセレモニー（テープカット）を行い、10時30分に開店予定です。

（本設店舗イメージパース）



イメージパースについては計画段階のものであり、変更が生じる可能性があります。

■店舗の特長

1. 宮城の特産品・工芸品販売

牛たん、ずんだ、笹かまといった宮城を代表する特産品をはじめ、水産・農産加工品、菓子、地酒、工芸品、雑貨など、選りすぐりの商品をおよそ800点取り揃えております。

2. ずんだシェイク・ずんだソフト・抹茶ソフト等の提供

仮設店舗（日本橋・茅場町）でも好評だった人気商品。イートインスペースも完備し、お買い物の合間にお立ち寄りいただけます。なお、宮城の地酒や県産品を使ったおつまみの提供も予定しており、開始時期が決まり次第、宮城ふるさとプラザWEBサイト等で改めてご案内いたします。

3. 生産者による販売・試食コーナー

生産者が店頭に立ち、商品への思いやこだわりを直接お客様にお届けする販売コーナーを設けます。会話を通じて背景を知り、試食で味わうことで、“つくる人”と“食べる人”がつながる。そんな、宮城をまるごと感じていただける場所を目指します。

■店舗デザインとロゴに込められた思い



店舗の内装には、当協会のブランドカラーである「海の青」と「陸の緑」を基調とした配色を使用しています。「海の青」は、南三陸や気仙沼など、世界三大漁場に抱かれた宮城の豊かな海の恵みを表現し、「陸の緑」は、米どころ大崎平野をはじめ、県北の畜産・酪農、県南の果樹や野菜など、多彩な農の風景を象徴しています。

ロゴマークには、宮城県を構成する35市町をイメージし、県の形を35個のマスで表現。地域ごとの個性や魅力を、ひとつの空間にぎゅっと詰め込んだショップを目指しています。

■店舗概要

名 称：宮城ふるさとプラザ

オープン日：2025年8月8日(金)10:30開店（10:00よりオープニングセレモニー/店舗前にて実施）

所 在 地：〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 地下1階

設置・運営：公益社団法人 宮城県物産振興協会

営 業 時 間：平日10:30～19:30 土日祝:10:30～19:00

休 業 日：年中無休(年末年始を除く)

ア ク セ ス：JR有楽町駅 京橋口・中央口から徒歩1分

WEBサイト：<https://cocomiyagi.jp/>

※現在仮設店舗として営業している日本橋茅場町の店舗につきましては、2025年7月24日の営業をもって、移転の為一旦閉店とさせていただきます。今後の活用については検討中であり、詳細が決まり次第、宮城ふるさとプラザWEBサイト等でご案内いたします。

■本件に関する問い合わせ先

公益社団法人宮城県物産振興協会 事務局

電話番号:022-263-5050 / E-mail:mono@miyagibussan.or.jp

ロゴ・店舗外観のイメージパースなど、報道用素材のご提供が可能です。取材・掲載をご検討の際はお気軽にご連絡ください。